

2019年度年末研究会開催について会員の皆様へ

一般社団法人 数学教育学会 会長 砂田 利一

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素、学会運営へのご協力をいただき、誠に有り難うございます。

2019年度の年末研究会を下記の通り開催いたします。理事・代議員に参集していただき、来年度以降の数学教育学会の運営・研究に関してのご意見を伺う機会を設けることといたしました。会員の皆様も、ご関心のある方に広くご参加いただけるものとしております。

記

日程 12月14日(土)/15日(日) 11:00 開始
会場 明治大学中野キャンパス 6階セミナー室3

内容

1日目

学会運営に関わる内容について、今年度の中間報告と来年度の計画に関して。

11:00～13:00 12月の理事会（拡大役員会として理事と代議員の参加）

昼食

14:00～16:00 学会運営等に関するA, B, C分科会別討論

- ・ A. SGの活性化をどうするか、学校現場の会員を増やす対策を含めて(河合理事)
- ・ B. 学会主催の教員向け講習会に向けて、8月実施/1月初旬実施の検討(町田理事)
- ・ C. 協力会員の実施・継続・運営体制について(白石理事)

16:15～17:30 全体討論会

2日目 冬季研究会：将来を見据えた学会の使命や課題を考える場といたしました。
多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

9:00～12:00 研究会 総合テーマ「Soceity5.0 に対応する数学教育」

- ・ 幼児教育（岡部恭幸会員）
- ・ 数学教育からプログラミング教育/コンピュータ利用をどうするのか。（丹洋一会員）
- ・ 数学学力の格差をどうするか。（高山琢磨会員）
- ・ 普通高校の数学をどうするのか。（関根宏会員）
- ・ 地域共同体での数学教育を考える。（町田彰一郎会員）